

【オプトアウトによる研究実施について】

全周性内外痔核に対する ACL 手術：後ろ向き観察研究

札幌いしやま病院では、診療の質向上と医学の発展を目的として、日常診療で得られた診療情報を用いた臨床研究を行うことがあります。本研究は、侵襲や新たな検査・受診を伴わず、通常の診療で得られた情報のみを用いる後ろ向き観察研究のため、国が定める倫理指針に基づき、患者さん個々からの同意取得は必要ありません。その代わりに、研究内容を公開し、研究への利用を希望されない場合には拒否できる仕組み（オプトアウト）を採用しています。

■ 研究課題名

「全周性内外痔核に対する ACL 手術：後ろ向き観察研究」

■ 研究の目的

2019 年に当院で手術を行った全周性内外痔核症例について、術前症状・手術内容・術後経過を解析し、術式の有効性や改善に寄与する要因を明らかにすることを目的としています。

■ 研究の方法

- ・ 研究デザイン：後ろ向き観察研究
- ・ 対象期間：2019 年 1 月～12 月
- ・ 対象患者：上記期間に当院で全周性内外痔核と診断され、ACL 手術を受けた患者さん
- ・ 利用する情報：
 - 年齢・性別
 - 診断名・既往歴
 - 肛門鏡検査、努責診察の所見

- 術前症状、手術内容

- 術後合併症、術後の臨床成績

■ 予想される不利益および利益

- ・ 不利益：日常診療情報を匿名化して使用するため、患者さんに不利益はありません。
- ・ 利益：直接の利益はありませんが、将来の痔核治療の向上に寄与する可能性があります。

■ 個人情報の取扱い

研究に使用する情報は匿名化し、個人が特定されない形で解析します。また、得られた結果は学会・論文などで公表される場合がありますが、患者さんが特定されることはありません。

■ 研究代表者

札幌いしやま病院

肛門外科 石山 元太郎

■ 研究への協力を望まれない場合

診療情報の研究利用を希望されない場合は、以下までお申し出ください。

札幌いしやま病院 研究責任者 石山元太郎

〒064-0915 北海道札幌市中央区南 15 条西 10 丁目 4-1

TEL 011-551-2241